

## 「全道ろうあ者大会」を終えて

先月、全道ろうあ者大会が石狩で開催された。開会式は手話であいさつをしたいの思いで、通訳者の協力をお願いして猛特訓、お陰で少しはコミュニケーションをとることができたのではないかと思っている ◆今年、

聴力障がい者との新年会で、「手話を言語」として認め、支援制度のアップを図るため、市条例を制定したい旨表明した。聴力障がい者の方々にとって手話は、基本的人権と地域との共生を図るためには必要な手段であることを強く認識してのことであり、同時に手話通訳の社会的地位を高めることなど、バリアフリーへ向かつてさらなる前進を期してのことである ◆このことを、全道大会であらためて申し上げ、全道の自治体が聴力障がい者の社会参加をさらに確立するため、「改正障害者基本法」の趣旨を踏まえた新制度の確立を目指すための、意義深い大会となった

◆今日「言語」として、いつでも、どこでもとなると通訳者、要筆記者の養成、国家資格、常雇用など課題は多い。また善意に寄りかかっているのが実態だ。市はもとより市民とともに「手話は言語」への実感あるまちづくりを目指して行きたい。(市長)

# 広告